



「親腹七日 (おやばらなのか) だからいっぱい食ってから行けよ！」

「里腹七日 (さとばらなぬか)」とも言うようですが、私の田舎ではなのか？我が家だけなのか？特に母親は、私が田舎から帰る前夜の夕食で、「もう、お腹いっぱい」と箸を置くと、必ずそう言って食べることを勧めます。(しかも普段より贅沢なごちそうを添えて)

このことわざは、里腹は七日間もつというこで、実家に帰ると気兼ねなしに腹いっぱい食べるので、七日間もお腹がすかないという意味のようです。また、「里腹三日」ということもあり、それは嫁や奉公人が、実家に帰って腹いっぱい食することという意味のようです。でも、私は「住み慣れた安心できる田舎から、都会という大きな荒波へ行こうとする大切な我が子を案じ、いろんな困難や辛いことがあって仮に飯が食えないことがあっても、今、親のもとで腹いっぱいにしてけば必ず乗り越えられるから、眼(頑)張って行ってきなさい。そして、その食べっぴりを目に焼きつけておくことで、親も安心して送り出せるから。」と解釈をしています。

あと一週間で旅立とうとしている卒業生に、三年間一人ひとりの成長を願い、大切に思い、共に喜んだり、悲しんだり、笑ったり、怒ったりした担任、学年職員、円中の全職員は、残されたわずかな時間の中で、まさしく今、「いっぱい食ってからいけよ！どんな新しい世界にいても、親腹七日で眼(頑)張れるからな！」と最後の晩餐に向けて、考えられる精一杯のご馳走をつくっているところです。みなさんも、「もう、お腹いっぱい」と箸を置かずに、「おいしいよ！」と精一杯のいい顔をみせて、この円中から出発して行って欲しいと思っています。

晩餐会である卒業式を成功させるための重要な役割が在校生です。今年度も残念ながら2年生しか参加できませんが、1年生の想いも背負い、今年度も素晴らしい式にしましょう。昨年は県内一番の卒業式だったと参列した方から賞されました。今年度は「日本一」を目指しましょう。

でも？どうやって・・・？在校生は特に式の中では「立つ・座る」、「お辞儀」、「拍手」の動作しかありません。そう考えると「簡単じゃん」とか「誰(どこの学校)がやっても同じでは？」と思う人もいるでしょう。でも、だからこそ難しいのです。いい映画は「主役だけがいい演技をしていても、映画全体としては、いい評価はされません。いい映画とは、いい主役といい脇役(名プレイヤーズ)が一つになっているもの。」と聞いたことがあります。そのとおりだと私も思います。特に台詞もアクションも少ない中で、最高にシーンを盛り上げ、感動を与える脇役の演技ほど高尚で難しいことなのだと考えます。単純な動きの中に卒業生へ**感謝**と、これから代わってリーダーとなる強い意志を伝えられるように、日々の生活を通して演技を磨いていきましょう。

「行動は嘘をつきません。」行動を引き起こすものは、みなさん一人ひとりの「**想い**」です。期待しています。





3月の主な行事予定

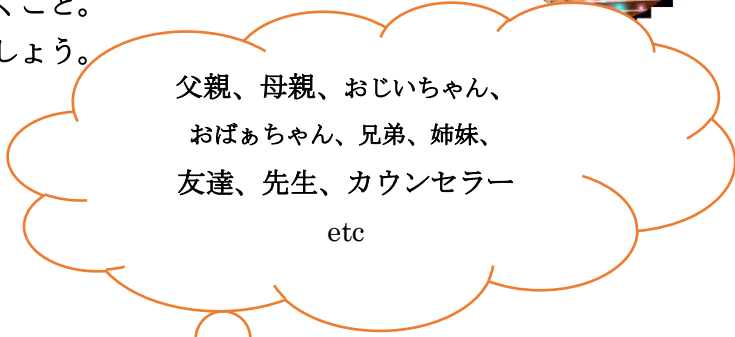
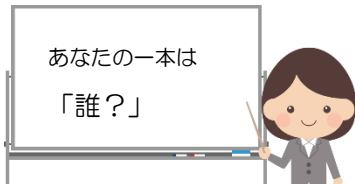
日	曜	朝読	学校行事	日	曜	朝読	学校行事
1	水		あすなろ講演会	15	水	○	保護者役員会
2	木		3E全体発表会	16	木		
3	金			17	金	○	
4	土			18	土		
5	日			19	日		食育の日
6	月		卒業式予行 保護者代表者会	20	月		
7	火		卒業式準備	21	火		春分の日
8	水		第41回卒業式	22	水		学年時間割(1~5校時)
9	木	○		23	木		学年時間割(1~4校時)
10	金	○		24	金		修了式・離任式
11	土			25	土		
12	日			26	日		学年末休業開始(~5日)
13	月						
14	火	○		6	木		着任式・始業式・入学式

〔忘れてはいけないこと〕

今から12年前の2011年3月11日、東日本大震災。失われたたくさんの命、あの日から当たり前の日常がなくなってしまった人たち、決して忘れてはならないと思います。万が一、災害が起こったとしたら、あの日の多くの犠牲者から教えられたことを教訓に大切な命を守りましょう。トルコの大地震も対岸の火事ではありません。自分の身に起こることとして考えましょう。防災は、必ずしも特別な備えが必要なわけではなくて、知っておくこと、確認しておくことが大事だそうです。

〔カズローのつぶやき〕

「辛い(つらい)」に、一本加えると「幸い(さいわい)」になります。辛さを抱え込んでしまうと、その一本に気づけなくなってしまうものです。日頃から自分にとっての一本をみつめておくこと。自分が誰の一本になれるかもみつめてみましょう。



辛 → 幸

